

## 患者さんへ

### 「脳血管障害患者における栄養障害の重症度別による Functional Independence Measure※の差異～急性期入院時と回復期入棟時の栄養状態での検討～」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

※Functional Independence Measure: 機能的自立度評価表

1 研究の対象	当院脳神経外科に入院し急性期治療を受け、回復期病棟を経て2016年7月から2021年12月31日までに退院した患者さん。
2 研究目的・方法	急性期入院時と回復期病棟への転棟時の栄養状態で、各時期での機能的自立度評価の得点と回復期病棟での機能的自立度の上昇に差異があるのかを、ご入院中のカルテ情報より調査します。このことにより、脳卒中発症早期から栄養状態の評価を行い、介入していくことの根拠となり、また回復期病棟でどの程度リハビリテーションの効果を挙げられるかの予測にもつながると考えられます。 研究の期間: 施設院長許可(2024年9月予定)後～2025年4月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さん/さまもしくは患者さん/さまのご家族等で患者さん/さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さん/さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	研究対象者背景(年齢、性別、体重、身長)、病歴情報(原疾患、既往歴)、入院時、回復期入棟時の血液検査値、入院時、回復期入退棟時の機能的自立度評価の点数等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者: 小出紘靖 大垣徳洲会病院 リハビリテーション科 理学療法士 住所: 岐阜県大垣市林町6丁目 85-1 連絡先: 0584-77-6110

2024年10月3日作成(第1.1版)